

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20220003	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	身体図式を基礎とした動的イメージ生成の脳内メカニズムの解明	研究代表者 (所属・職)	乾 敏郎（京都大学・大学院情報学研究科・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)	
<p>本研究では（1）物体認知におけるイメージの生成変換照合過程、（2）認知地図の動的形成とイメージ変換の二つの主要テーマに沿って研究が展開されている。それぞれ当初の想定外の新しい発見やモデル開発が着実に進行している。今後これらの成果を基に新しい展開を期待するとともに、研究成果をジャーナルペーパー等で発表し、わかりやすい形で社会に示すことが望まれる。</p>	

【平成25年度 検証結果】

検証結果	当初目標に向けて順調に研究が進捗しており、期待どおりの成果が達成された。
A	<p>特に、（1）物体認知におけるイメージの生成変換照合過程、（2）認知地図の動的形成とイメージ変換の二つの主要テーマについて多くの研究が展開されており、それぞれ当初の想定外の新しい発見やモデル開発が着実に達成されている。研究成果については、国際的な論文誌、国際会議に多くの論文が採録されていることに加え、社会への還元のため、イメージ生成と変換に関する研究を体系的にまとめて図書として出版している点も高く評価できる。ただ、脳波とfMRIの統合については、（1）（2）に比較して成果発表が少ないため、今後の論文発表によって研究成果をより社会的に周知させることを期待する。</p>